

日本体育・スポーツ経営学会 第49回学会大会
東北学院大学（2026年3月14日～15日）

1. 会期

2026年3月14日（土）～15日（日）

2. 会場・形式

東北学院大学 土樋キャンパスホーイ記念棟（14日）・五橋キャンパス講義棟（15日）
対面開催

3. テーマ「変容する社会と地域スポーツの未来」

（趣旨）体育・スポーツ経営学の基盤となる地域社会は、我が国の急激な社会構造の変化に伴い、危機的な状況に直面しているのは周知のとおりです。急激な人口減少、それに伴う財政の制約は深刻化の一途を辿り、「消滅可能性都市」といった言葉が現実味を帯びています。また、その萌芽は、地域スポーツの実践においても、既に顕在化しています。それは、耐用年数を迎えた公共スポーツ施設の改修と廃止、運動部活動の地域展開等において、言い換えれば「地域間のスポーツ機会の格差」という形で表出しあげています。特に東北地方は、多くの都市や市町村が極めて厳しい複合的な課題に直面し、併せて未曾有の災害からも立ち直れているとは言えません。

このような状況を踏まえ本学会大会では、操作が不可能な危機的外部環境に直面しているスポーツ組織、学校や地方公共団体といった公的な組織はもとより、民間企業、市民スポーツ組織、主に市町村レベルにおける地域のスポーツ資源となる組織全てを対象に、その地域での事業継続、或いはこれまでとは異なる新しい方策を探求することを目的としています。本大会の成果が、東北地域のスポーツ組織はもとより、地方のスポーツ組織に貢献し、本領域の学術活動の深化と発展に寄与することを目指します。

4. 基調講演「地球人間圏科学・災害科学からみた地球環境と地域」

原 裕太氏（東北大学）

（趣旨）東日本大震災や令和6年能登半島地震などの急性の大規模災害、気候変動などによる慢性の災害を事例に、人間の日常生活、文化活動を行う「場」の理解について、人文・社会科学と自然科学双方の知見を踏まえて包括的な示唆を得ます。演者である原先生は、自然共生システム、防災や生態系保全と住民生活が並立する社会の構築を研究課題とする地理学・災害科学の研究者で、看護学、歴史学、国際開発学、政治学、人類学、古気候学などの多様な隣接領域とも共創を進めておられます。体育・スポーツ経営学とは異なる時間・空間軸からの地域への視点をテーマに、人間の文化活動としてのスポーツが、今後も想定される災害、そしてその復興と併存していく形を考えます。具体的には、防災・減災、気候変動などとスポーツの関わり、地域づくりにおける価値観の対立、地域が持つ多面的な機能や多様性とスポーツの繋がりといったキーワードのもとでご講演いただく予定をしています。

5. シンポジウム「(地方都市における) 人口減少と体育・スポーツ経営学」

- ・コーディネーター：阿部 拓真 氏（大正大学）
(シンポジスト)
- ・佐藤 滋 氏（東北学院大学）「地方公共団体の人口減少と事業継続 - スポーツの需要とは - 」
- ・村田周祐 氏（鳥取大学）「緩やかにつながる新しい地域のスポーツの形」
- ・高岡 敦史 氏（岡山大学）「地域スポーツが、街づくりに及ぼす可能性 - 目指すべき実践と論理 - 」
- ・（基調講演者の原先生にも加わっていただきます）

(趣旨) 地域の衰退に抗う持続性の創出をテーマに、従来通りのスポーツ振興からはいったん離れ、地域づくりや課題解決への取り組みを通じて、それらをもとに地方におけるスポーツ実践が現実に直面する困難性や課題を表出化すると同時に、研究対象としての展望や、その方法論について議論し、新たな知見を得たいと考えています。

6. 大会参加手続き

(1) 参加申込み方法：WEB 参加申込み

参加申込みフォーム (<https://forms.gle/VnCKY2hjGbdkC2Pe6>) からアクセスしてください。参加申し込みにあたっては 参加区分、研究発表（口頭／ポスター）、などをそれぞれ選択してください。

(2) 参加申込み締切日

2026年1月31日（土）

(3) 参加費

項目	会員種別	参加費	項目	参加費
大会参加費	正会員	5,000 円	懇親会費	4,000 円
	学生会員	2,000 円		2,000 円
	臨時一般会員	6,000 円		4,000 円
	臨時学生会員	3,000 円		2,000 円

懇親会会場：コラトリエ・リエゾン（14日の会場であるホーイ記念館の1階）にて行います

（学内飲酒禁止の為、ノンアルコールにて開催します。ご了承ください）

(4) 振込先および振込締切日

＜振込先＞

銀行名：三井住友銀行 (0009) 仙台支店 (311)

口座番号：普通 2890542

口座名義：日本体育・スポーツ経営学会 第49回大会 実行委員長 天野和彦

振込締切日：2026年1月31日（土）

(5) 大会日程

＜プログラム＞		
日程	時間	内容
3月14日（土）	10:30～11:00	学生研究発表
	11:00～11:10	休憩
	11:10～11:40	ポスター発表
	(11:40～12:40)	*理事会
	12:50～13:00	開会あいさつ
	13:00～14:30	基調講演
	14:30～14:45	休憩
	14:45～16:45	シンポジウム
	16:45～17:00	休憩
	17:00～17:45	総会
3月15日（日）	18:00～20:00	懇親会
	9:30～10:50	一般発表
	10:50～11:00	休憩
	11:00～12:20	一般発表
	12:20～13:10	昼休憩・優秀研究発表審査会
	13:10～14:30	一般発表
	14:30～14:40	閉会式・優秀発表表彰

7. 研究発表について

(1) 発表資格・内容など

2025年度会費・大会参加費納入済の正会員・学生会員、大会参加費を納入済みの臨時会員が発表できます。

□学生研究発表（学部生）

発表内容は、体育・スポーツ経営に関する研究であり、完結している研究に限ります。なお、筆頭演者の学部生につきましては、必ず指導教員による指導を受けた者とします（共同研究者として指導教員を含むようにしてください）。発表時間は12分、質疑応答は3分、計15分となります。

□一般研究発表

発表内容は、体育・スポーツ経営に関する研究であり、完結している研究に限ります。なお、筆頭演者としての発表につきましては、一人1演題に限ります。発表時間は15分、質疑応答が5分、計20分となります。

なお、「学会大会優秀発表賞」（詳細別紙）に応募する学生会員は、かならず参加申込みフォームにおいてエントリーを表明するようにしてください。

□ポスター発表

発表内容は、体育・スポーツ経営に関する研究であり、完結している研究に限ります。なお、筆頭演者としての発表につきましては、一人1演題に限ります。発表者は、大会開催期間中、指定された会場にてポスターの掲示ができます（会場については別途お知らせいたします）。また、発表者は指定された時間帯に各自のポスターの前に立ち、参加者と質疑応答をおこなってもらいます（責任着座制）。

(2) 発表申込み

参加申込みフォームから発表の申込みをしていただき、学生研究発表および一般研究発表については期日までに予稿集を提出してください。また、ポスター発表の場合は申込時に題目をお知らせください。

(3) 大会予稿集の原稿の提出

予稿集の原稿は、「予稿集原稿の作成要領」に従って作成し、2026年3月1日（土）までに大会事務局へ電子メールに添付して提出してください。＊今年度の学会大会から、発表抄録から予稿集へ変更になります。

8. 大会事務局および実行委員会

＜大会事務局＞

〒984-0075

宮城県仙台市若林区清水小路3-1 東北学院大学 人間科学部 天野和彦

TEL: 022-354-8645 E-mail: keiei49th@gmail.com

主催： 日本体育・スポーツ経営学会

共催： 東北学院大学

9. 学会大会実行委員会

実行委員長 天野 和彦（東北学院大学）

委 員 永谷 稔（北翔大学）

斎藤 麗（作新学院大学）

石川 智（作新学院大学）

今宿 裕（作新学院大学）

永田 秀隆（仙台大学）

10. アクセスマップ

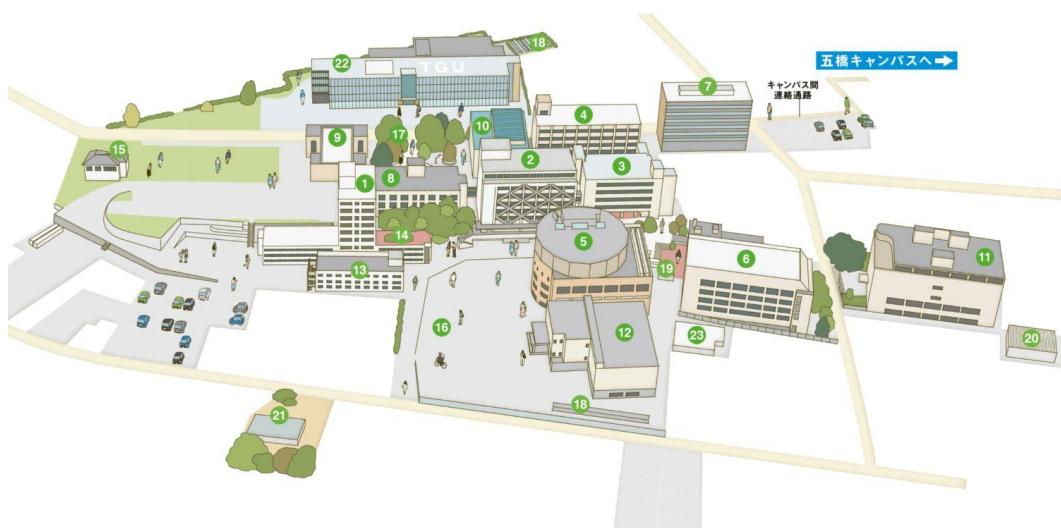
東北学院大学は仙台駅から徒歩 15 分、地下鉄南北線五橋から土樋キャンパス（ホーイ記念館）は 3 分、五橋キャンパス（講義棟）は 1 分です。

【14 日】地図の②番、ホーイ記念館地下ホールです。

土樋キャンパス

伝統と未来が融合する落ち着きのある学びの環境

東北学院大学の象徴でもある本館をはじめ、正門、礼拝堂、大学院棟など国の登録有形文化財（建造物）に囲まれた歴史あるキャンパス。



【15 日】五橋キャンパス講義棟 L503 は③です

五橋キャンパス

コミュニケーションの輪が広がる文理融合の都市型キャンパス

仙台市地下鉄南北線「五橋駅」直結。

16階建ての高層棟「シュネーダー記念館」をシンボリに、4つの建物と中央の広場からなる都市型キャンパス。

